



## 初期研修医採用人数

---

### <項目解説>

---

平成16年4月以降に医師免許を取得した医師には2年間の初期臨床研修が義務付けられ、それぞれの臨床研修病院が研修医を全国公募し、これに対して研修医は自分で研修先の病院を選ぶことになりました。現在では各病院が受け入れ可能人数を北海道に示し、道が病院ごとに過去3年間の実績に基づき定員を決定します。

定員通りの研修医を採用しているという事は、研修病院の教育・研修プログラムや医療の質が高いことを意味します。

### <当院の実績>

---

【平成25年度】	10名（公募10名定員）
【平成26年度】	10名（公募10名定員）
【平成27年度】	11名（公募12名定員）
【平成28年度】	12名（公募12名定員）
【平成29年度】	11名（公募12名定員）

### <当院の自己点検評価>

---

平成16年度から新医師臨床研修制度がスタートし、毎年公募定員を超える数多くの応募をいただいております。

平成20年には卒後臨床研修評価機構の審査を受け、全国で40番目の認定病院となりました。また、平成26年5月には2回目の訪問調査を受審しています。

### <定義>

---

- ・初期研修プログラム1年目の人数

### <算式>

---

実数



## 指導医数

---

### <項目解説>

---

指導医とは、研修医の教育・指導を担当できる習熟した医師のことですが、その資格は厚生労働省の規則で“臨床経験7年以上で、厚生労働省が認めた指導医講習を受けた医師”と定められています。

指導医数は、医師層の厚さを示すことに加えて、病院が診療のみではなく教育・研修を重視し、優れた医療者育成に真摯に取り組んでいる事を表しています。

### <当院の実績>

---

【平成25年度】	56名
【平成26年度】	59名
【平成27年度】	58名
【平成28年度】	58名
【平成29年度】	61名

### <当院の自己点検評価>

---

当院は研修必須化以前の平成10年から臨床研修指定病院となり、同年から「臨床研修指導医養成講習会」に医師を派遣してきました。また、平成19年からは厚生労働省の許可のもと、北海道厚生連が独自で指導医講習会を開催し、受講しやすい環境を整えています。

### <定義>

---

- ・解説のとおり

### <算式>

---

実数



## 専門看護師・認定看護師数

### <項目解説>

専門看護師・認定看護師とは、いずれも日本看護協会による認定資格です。専門看護師は全11分野、認定看護師は全21分野に分かれており、それぞれの領域における高い看護技術と知識を有し、他職種や他部門との協働の中心的役割を期待されています。

医療の高度化や専門化・ニーズの多様化が進む中で活躍の場が増えるとともに、医療現場においてその必要性和重要性が高まっています。

### <当院の実績>

#### 【平成29年度】

専門看護師：	慢性疾患看護分野	1名	がん性疼痛看護分野	1名
認定看護師：	皮膚・排泄ケア分野	2名	新生児集中ケア分野	1名
	集中ケア分野	3名	糖尿病看護分野	1名
	感染管理分野	2名	乳がん看護分野	1名
	手術看護分野	1名	小児救急看護分野	1名
	摂食・嚥下障害看護分野	1名	緩和ケア分野	1名
	認知症看護分野	1名		

### <当院の自己点検評価>

当院では、分野の異なる専門・認定看護師が2～3名のグループとなって定期的に院内をラウンドしています。ラウンドでは現場の看護師から看護ケアについての相談を直接受けることもあり、ケアの質の向上に貢献すべく活動しています。

また、専門看護師・認定看護師の集まりである看護部スペシャリスト委員会では、認定看護師を目指す看護師に向けてガイダンスを開催するなど支援活動も行っており、厚生連や地域のニーズに合った認定看護師の育成を目指しています。

院外での活動も活発に行っており、十勝管内の各自治体や全道厚生連病院における研修会・十勝管内の小規模病院の看護師を対象とした研修会の講師としても活動しています。

### <定義>

- ・年度末時点での資格保有者

### <算式>

実数



## 外部医療機関などからの看護師の研修受け入れ人数

### <項目解説>

一度職に就いてからスキルアップのために研修を受け入れる体制を評価します。  
現任教育及び再教育に関する体制が整っていることを表します。

### <当院の実績>

【平成25年度】	27名		
【平成26年度】	45名		
【平成27年度】	47名		
【平成28年度】	99名		
【平成29年度】			
新人看護職員研修ビギナーPartⅢ（多重課題）	2名	新生児ケア	3名
認知症のケア	21名	癌性疼痛	11名
感染管理研修	14名	手術室看護	8名
災害対策支援研修	13名	褥瘡ケア	22名
摂食嚥下・口腔ケア研修	19名	重症集中	2名
小児救急	2名		
計	119名		

### <当院の自己点検評価>

北海道看護協会の施設間交流研修事業の受け入れで、11研修を実施しました。  
地域の看護師との交流を図るとともに、ネットワーク構築の第一歩となっています。

平成29年度については、新人看護職員実践能力向上研修支援事業の医療機関受入研修事業への参画・公募により2名を受け入れました。

今後も地域の拠点病院として、認定・専門看護師などの活用により、他医療機関での企画が困難なプログラムについて実施していきます。

### <定義>

- ・外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人数
- ・外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とする

### <算式>

実数



## 看護師の実習学生受け入れ人数

---

### <項目解説>

---

学生実習に関する教育体制が整っていることを表します。

### <当院の実績>

---

【平成25年度】	173名
【平成26年度】	170名
【平成27年度】	174名
【平成28年度】	256名
【平成29年度】	263名

### <当院の自己点検評価>

---

当院では、3つの看護学校と1つの看護大学の実習生を受け入れています。

臨地と学校側とで実習委員会を合同で持ち、実習生が効果的な実習が出来るよう毎月定例の委員会にて情報共有・実習評価を行っています。あわせて、新任実習指導者のための研修会と指導者研修会を年2回設定し、学生を指導する手がかりを得ています。

平成27年度からは、各実習部署に実習指導者を1～2名ずつ専任で配置し、学生の個別性に合わせた継続的な指導展開ができるようになりました。

### <定義>

---

- ・養成教育機関からの実習学生延べ人数
- ・1日体験は除く

### <算式>

---

実数